

令和 8 年度丹波篠山市在宅医療・介護連携推進事業計画（案）

【目標】

住み慣れた丹波篠山市で、互いを認め合い、人生の最期までを安心して暮らし続けられるよう、医療・介護等の関係機関における多職種が連携し、切れ目のない在宅医療・介護が提供できる体制を整備する。(第9期介護保険事業計画に基づく)

【具体的項目】

- ① 医療・介護事業者間の情報連携
 - ・篠山つながり手帳の運用継続と電子化（ヘルスケアパスポートの運用）等による多職種連携の充実
 - ・入退院時における継続的支援への連携の充実
- ② 人生会議の周知・啓発と実施
 - ・多職種連携会議「この指と～まれ」の年間のテーマを「人生会議（ACP）」とし、専門職の知識向上を図る。
 - ・市民に「わたしの大事をつなぐノート」・「人生会議」の周知を続ける。

【実施内容】

日 時	内 容
R8.5	第 1 回多職種連携会議「この指と～まれ」開催 ミニ講義・事例検討、意見交換
R8.7	第 1 回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会開催 ・丹波篠山市在宅医療・介護連携に関する課題の整理 ・ヘルスケアパスポートの実証実施に関する状況報告 等
R8.9	第 2 回多職種連携会議「この指と～まれ」開催 ミニ講義・事例検討、意見交換
R8.9	退院時調整ルールに関する運用調査（介護支援専門員・丹波圏域内病院）
R8.11	「人生会議の日」の周知啓発活動 広報 11 月特集号掲載 「わたしの大事をつなぐノート(人生会議)簡易版」について
R8.12	丹波圏域退院時調整ルール推進検討会 丹波圏域 7 病院と介護支援専門員代表との意見交換・検討
R9.1	第 3 回多職種連携会議「この指と～まれ」開催 ミニ講義・事例検討、意見交換
R8.3	第 2 回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会開催

*第1回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会にて、丹波篠山市在宅医療・介護連携に関する課題について検討いただいた結果、事業計画の内容を変更することがあります。